

株式会社ニツカトー  
2024年3月期(第1Q)  
決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2024年3月期(第1Q)業績概要
3. 2024年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について

2. 2024年3月期(第1Q)業績概要

3. 2024年3月期業績予想

4. 事業トピックス

**ニッカトーは、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献する。**

# 中期経営計画について

- 当社の存在意義である、「**独自素材の提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する**」べく、持続的に成長し、社会的課題の解決に取り組み続けられる経営基盤の再構築期間と位置付け
- 2025年度を新たなスタートとして、中長期の持続的成長に繋げていくために中期経営計画「**CONNECT 25**」を策定



# 「CONNECT 25」のコンセプト

- 経営基盤の再構築を、【QUALITY】・【ENVIRONMENT】・【MANAGEMENT】の3つの成長ドライバーをテーマに実施
- 当社と事業の持続的成長によって、脱炭素社会の実現・社会的課題の解決に貢献し、時代に必要とされる“Reliable Company”を目指す

## 「CONNECT 25」における目標

持続的に成長し、社会的課題解決へ  
貢献していけるだけの経営基盤の再構築

### 存在意義の確立

経済的価値・社会的価値の創出を通じた  
自社の持続的成長【GROWTH】の達成と、  
脱炭素社会実現への貢献

### 経営ビジョンの達成

“Reliable Company”

—時代に必要とされる企業だけが成長する—

## 達成のための3つの成長ドライバー

### 【QUALITY】

市場ニーズに応える製品・  
技術の追求

- これまで築いてきた競争優位性を元に、変化する市場ニーズに応えられる製品開発を推進
- 素材・性能・品質・コスト面において、さらなる付加価値向上・差別化を追求

### 【ENVIRONMENT】

環境負荷軽減のための  
技術開発

- 製品製造時の温室効果ガス削減・エネルギー利用減少を実現する、製造プロセス改善を推進
- 当社の製品により、顧客の生産工程における環境負荷の軽減に繋がる製品・技術開発を強化

### 【MANAGEMENT】

事業ポートフォリオの  
再構築

- 全事業・製品を4つのステージ(重点・強化・再構築・再編)に分類定義
- 市場ニーズに応えるべく、競争力のある重点・強化事業には経営リソースを集中投下  
再構築・再編事業は高付加価値化による収益性改善を図る

# サステナビリティ課題への取組方針

## ESGの主要テーマ

## 関連する主なSDGs

## 当社の取組方針 ～CONNECT25の3つの取組テーマ～

## 具体的な取組

### E Environment

#### 脱炭素社会の実現 気候変動・温暖化対策



#### ENVIRONMENT

環境負荷低減のための技術開発  
 - 製品製造時の環境負荷低減  
 - 生産工程の環境負荷低減

- ・設備導入・生産改善を通じたエネルギー利用効率化・GHG排出量削減
- ・工業排水の循環利用技術の開発
- ・不良品、使用済品のリサイクル・リユース体制の構築
- ・クリーンエネルギー対応製品の開発

#### サプライチェーン における信頼構築



#### QUALITY

市場ニーズに応える製品・技術の追求

- ・製品・技術知識の向上、顧客ニーズ深堀の強化
- ・産学連携による環境技術開発・ビジネス創造
- ・調達リスク低減、品質保証体制強化による製品供給の安定化

### S Social

#### 雇用と人材育成 知財開発・管理体制



#### QUALITY

- 人材採用・育成、評価方法の見直し  
 - 100年の歴史で培われてきた職人技術・ノウハウの継承  
 - 知財専門人材の登用・育成、知財管理強化

- ・職人保有の知見・技術のシステム化、データ活用に基づく人材育成
- ・脱年功序列、若手・女性幹部登用推進
- ・求める人材の再定義と採用人材の質の向上、研修の拡充・再整備
- ・産学連携・共同開発の強化推進

#### 地域社会の発展と共生



- 地域雇用の創出  
 - 工場周辺地域への配慮

- ・地域社会における雇用創出
- ・周辺地域への配慮、安全確保の推進

### G Governance

#### コーポレートガバナンス体制の強化



#### MANAGEMENT

コーポレートガバナンス・コードへの対応  
 最適な事業ポートフォリオの構築

- ・ステークホルダーへの情報開示体制の強化、エンゲージメント向上の推進
- ・経営リソースの配分見直しと収益性改善

# 計数目標及び進捗状況

- EV車・5G関連製品を始めとする成長産業での需要増加を確実に捉え、**過去最高水準の売上高100億円**を達成
- セラミックス製品の差別化・競争優位性の追求により収益性を改善、**営業利益率10%超**へ到達し、営業利益も過去最高益創出を図る

百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 変更前目標	2023年度 変更後目標	2024年度 変更前目標	2024年度 変更後目標	増減 2020年度比
売上高 (前期比)	8,655	9,979 (+1,324)	10,733 (+754)	10,200 (▲533)	→ 10,700 (▲33)	10,800 (+100)	→ <b>11,100</b> (+400)	+2,445
営業利益 (%)	363 (4.2%)	972 (9.7%)	1,102 (10.3%)	1,030 (10.1%)	→ 1,130 (10.6%)	1,200 (11.1%)	→ <b>1,240</b> (11.2%)	+877 (+7.0%)
経常利益 (%)	440 (5.1%)	1,028 (10.3%)	1,177 (11.0%)	1,050 (10.3%)	→ 1,180 (11.0%)	1,200 (11.1%)	→ <b>1,270</b> (11.4%)	+830 (+6.3%)
当期純利益 (%)	275 (3.2%)	672 (6.7%)	835 (7.8%)	720 (7.1%)	→ 840 (7.9%)	820 (7.6%)	→ <b>900</b> (8.1%)	+625 (+4.9%)
ROE	2.5%	5.8%	6.9%	6.2%	→ 6.9%	7%達成 (8%目標)	→ <b>7%達成</b> (8%目標)	+4.5%

- 足元の経済状況を鑑み、中期経営計画における2023年度・2024年度の計画を上方修正いたしております



# 計数目標 —セグメント別業績目標—

百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 修正前目標	2023年度 修正後目標	2024年度 修正前目標	2024年度 修正後目標	増減
<b>セラミックス事業</b>								
売上高	6,601	7,620	8,182	8,000	➡ 8,200	8,400	➡ 8,600	+1,999
営業利益 (%)	336 (5.1%)	892 (11.7%)	985 (12.0%)	970 (12.1%)	➡ 1,030 (12.6%)	1,130 (13.5%)	➡ 1,150 (13.4%)	+814 (+8.3%)
<b>エンジニアリング事業</b>								
売上高	2,053	2,358	2,551	2,200	➡ 2,500	2,400	➡ 2,500	+447
営業利益 (%)	27 (1.3%)	80 (3.4%)	117 (4.6%)	60 (2.7%)	➡ 100 (4.0%)	70 (2.9%)	➡ 90 (3.6%)	+63 (+2.3%)

✓ セラミックス事業:

- 成長が見込まれる先端技術産業※の需要拡大に対応し、製品付加価値向上を通じた収益性改善を推進  
(※ EV車・5G関連部品に必須かつ、今後一層の需要増加が見込まれるMLCC(積層セラミックコンデンサ)や、EV車への搭載に向けて開発・実用化が進められている全固体電池 等)

✓ エンジニアリング事業:

- これまで事業独立した動きとなっていた営業活動から、セラミックス事業との一体営業・ニーズ発掘を推進し、先端技術製品の研究開発におけるニーズ取り込みを強化

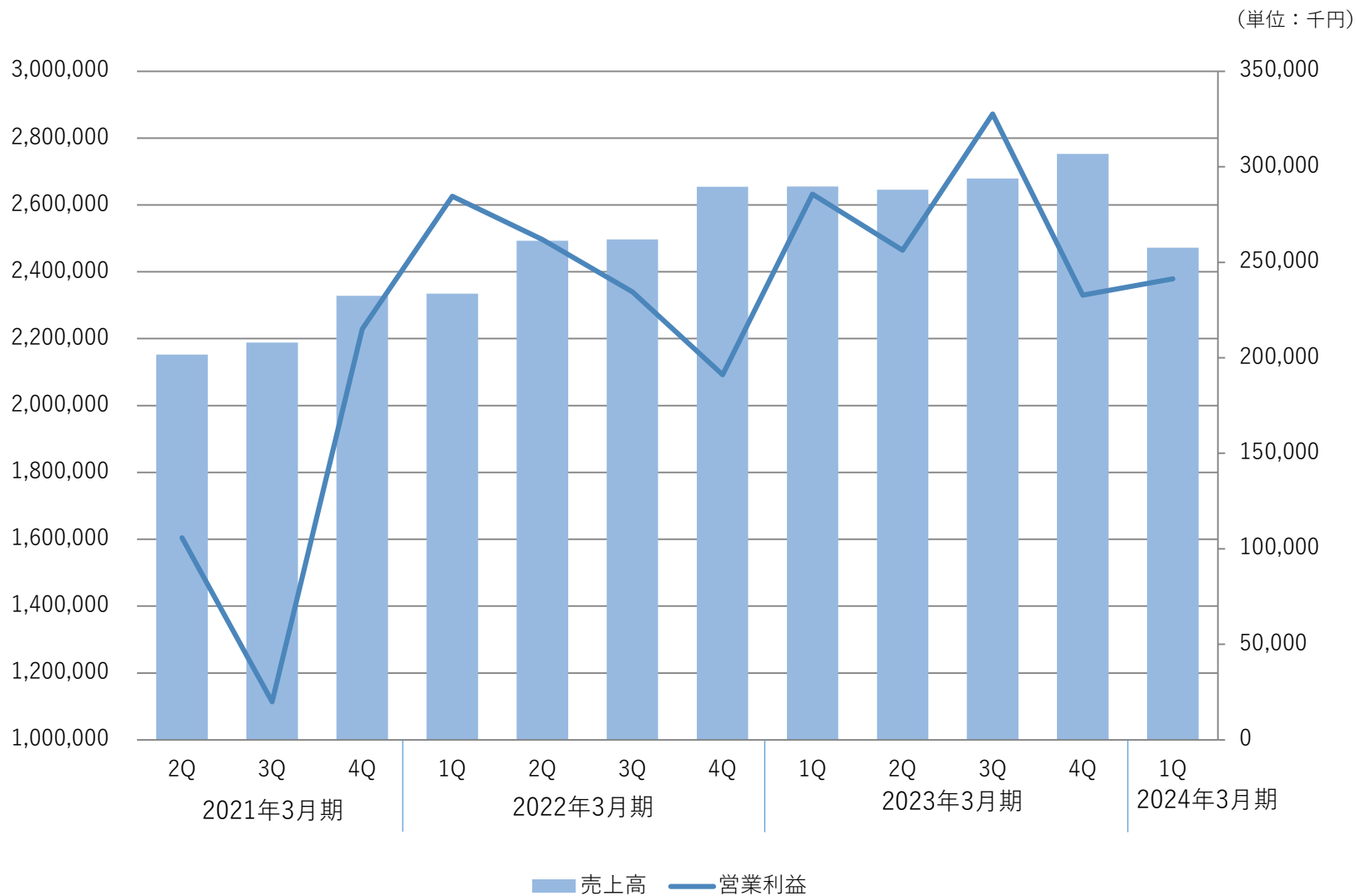
1. 中長期的な戦略について
2. 2024年3月期(第1Q)業績概要
3. 2024年3月期業績予想
4. 事業トピックス

# 経営成績の概要

(単位：千円)	2023年3月期1Q		2024年3月期1Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	2,655,315		2,471,759		-183,556	-6.9%	10,700,000	23.1%
売上原価	2,006,436	75.6%	1,850,333	74.9%	-156,103	-7.8%	8,070,000	22.9%
販売費及び一般管理費	363,260	13.7%	380,156	15.4%	16,896	4.7%	1,500,000	25.3%
営業利益	285,618	10.8%	241,268	9.8%	-44,350	-15.5%	1,130,000	21.4%
経常利益	312,744	11.8%	268,578	10.9%	-44,166	-14.1%	1,180,000	22.8%
当期純利益	218,088	8.2%	188,559	7.6%	-29,528	-13.5%	840,000	22.4%
研究開発費	53,869	2.0%	59,642	2.4%	5,772	10.7%	-	-
EPS(円)	18.27	-	15.80	-	-2.47	-	-	-
ROA(%)	5.3	-	4.5	-	-0.8	-	-	-
ROE(%)	7.4	-	6.1	-	-1.3	-	-	-

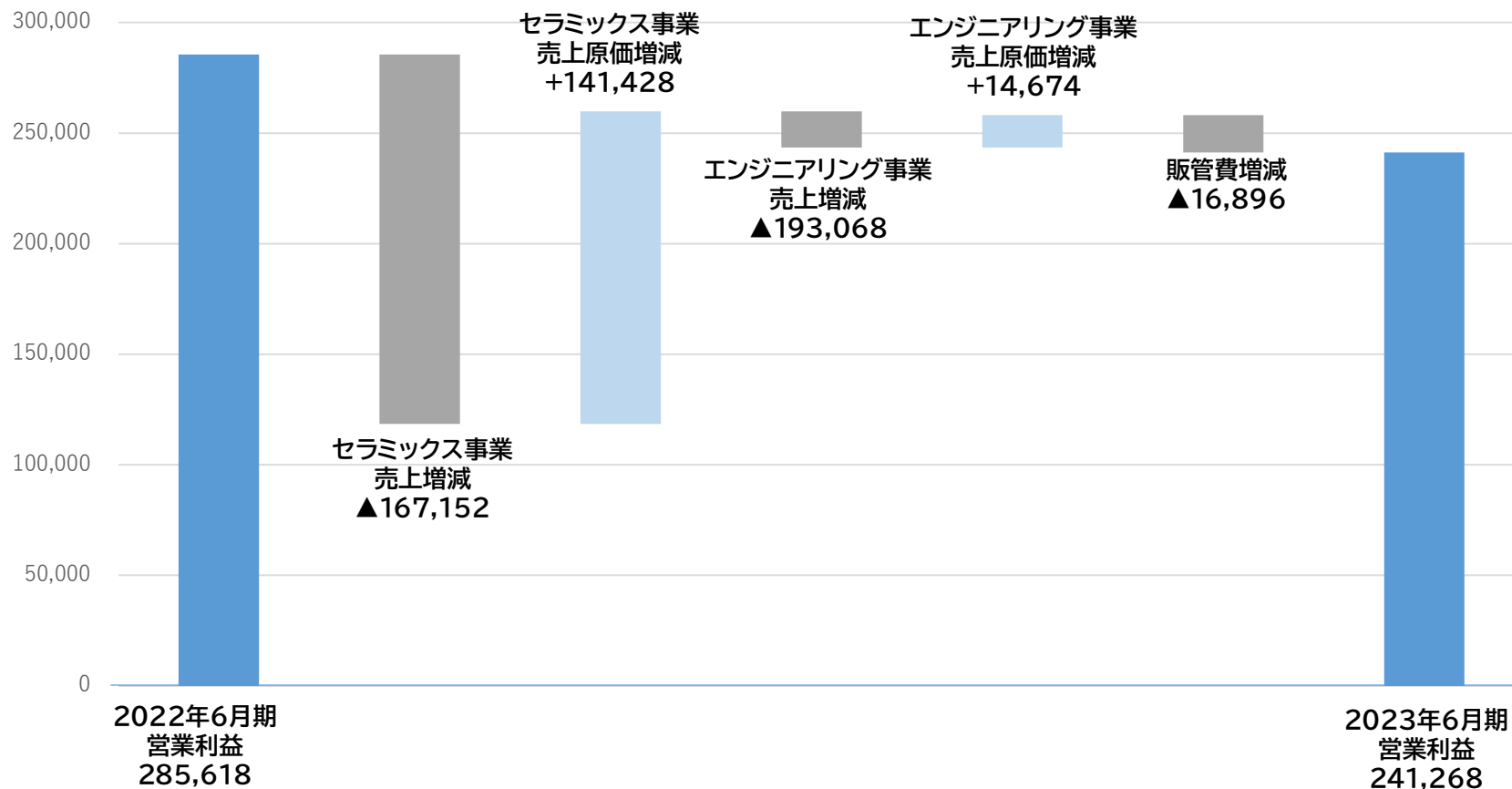
※ROA・ROEの数値は第1四半期の実績数値を通期換算しております。

# 売上高・営業利益推移(四半期毎)



# 営業利益増減要因

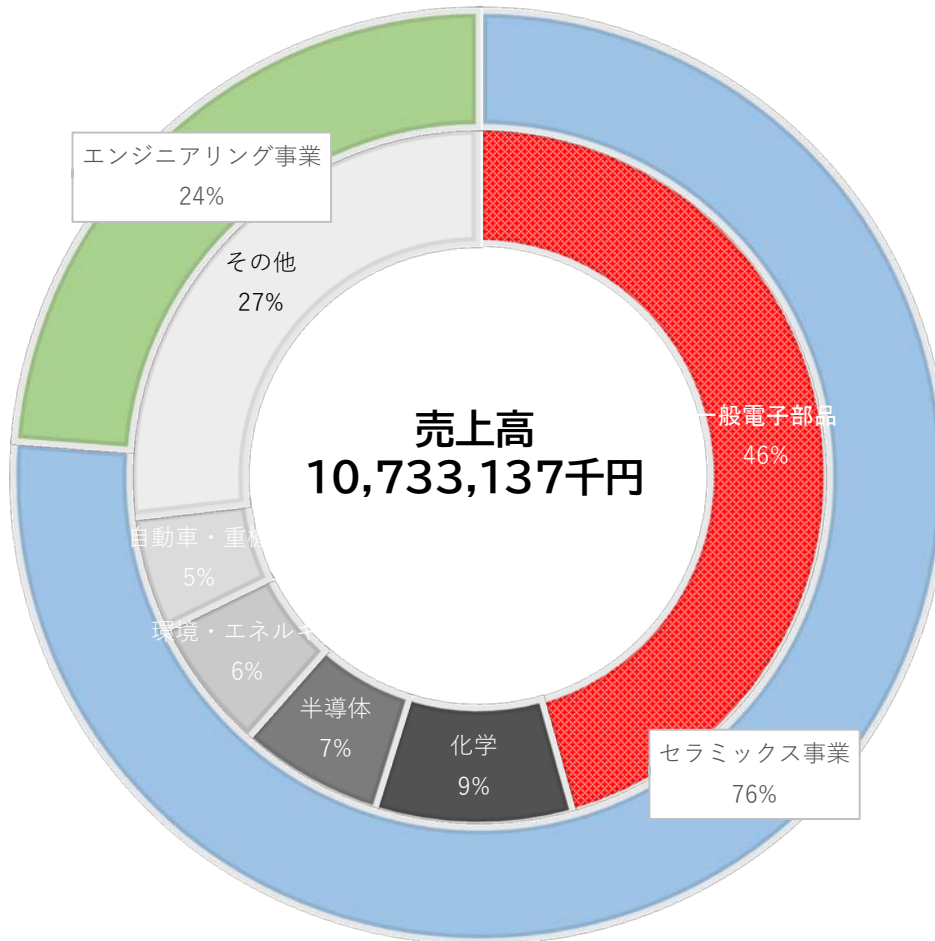
(単位：千円)



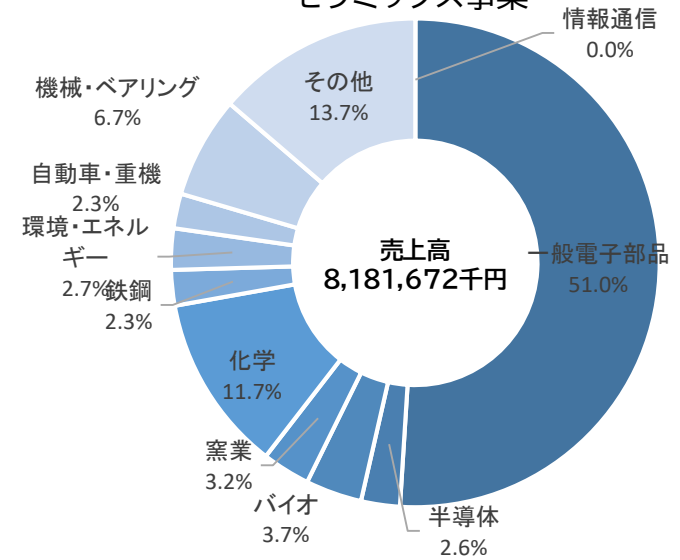
- ✓ 主力の電子部品業界の在庫調整や設備投資の鈍化の影響を受け、減収となる。エネルギー価格の高騰は一部で落ち着きを見せるも、110周年事業に係る費用並びにIT関連投資費用が増加し、前年同期比15.5%減益の241,268千円となる。

# マーケット別構成比

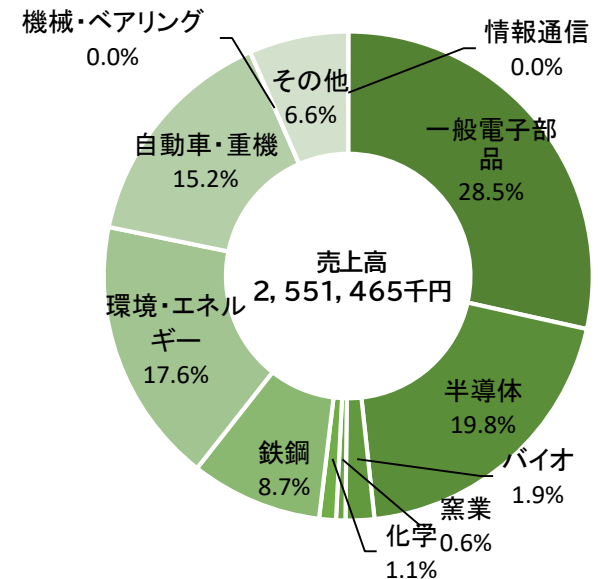
## 全社



## セラミックス事業



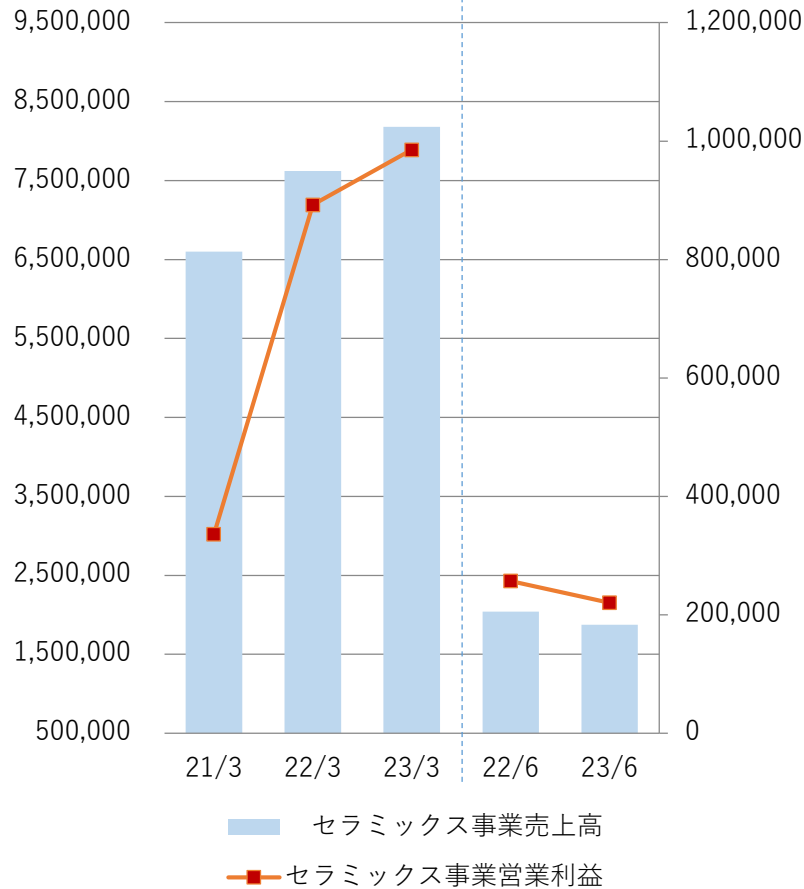
## エンジニアリング事業



※マーケット別構成比は2023年3月期のデータを使用しております

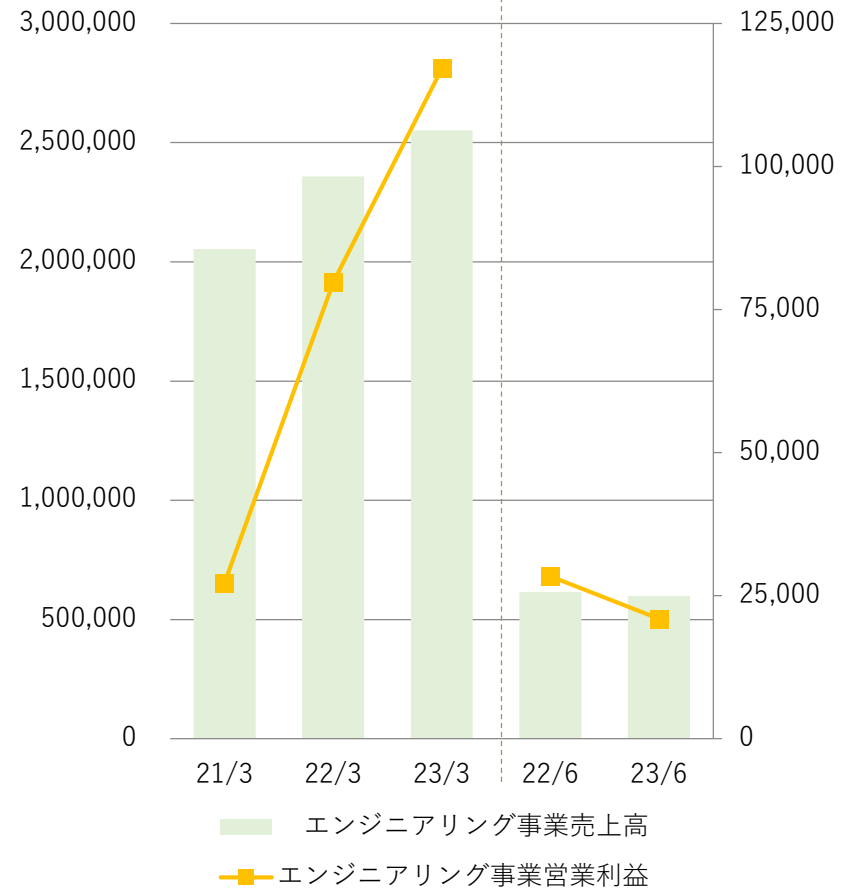
## 【セラミックス事業】

(単位：千円)

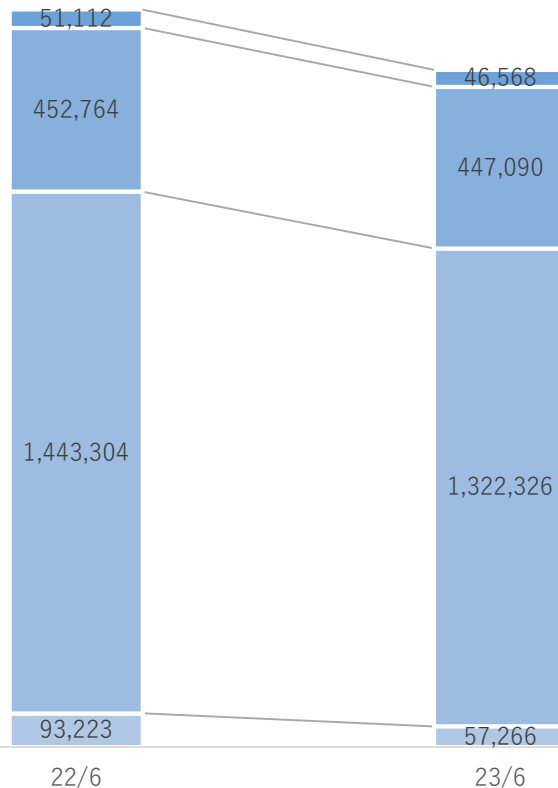


## 【エンジニアリング事業】

(単位：千円)



(単位：千円)



- 機能性セラミックス
- 耐摩耗セラミックス
- 耐熱セラミックス
- 理化学用陶磁器他

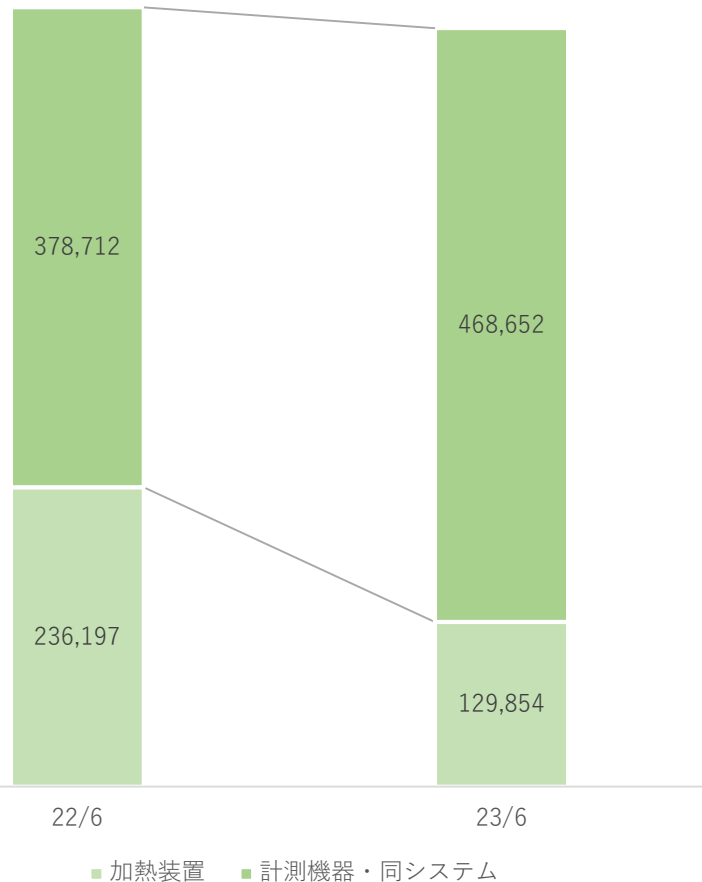
・新型コロナウイルス感染症の行動制限の撤廃、消費マインドの改善等明るい兆しもある一方、米中関係の厳しい状況、ウクライナ侵攻の長期化と今後も予断は許さない状況。

・主力の電子部品業界の生産調整の影響を受けているものの、中長期的には堅調な伸びを予測。

・原材料・エネルギー価格の高騰は一時的に改善の動きを見せるものの、限定的。



(単位：千円)



・半導体・電子部品及び自動車や鉄鋼関連がメイン、計測機器は好調に推移するも加熱装置が苦戦し減収となる。

・企業の設備投資意欲の低下が懸念されるも、計測機器の長納期化や値上げによる先行発注の動きもみられる。

・構造改革には一定の効果が見られるも、更なる営業効率の追求・利益率の改善に注力。

# 貸借対照表

(単位：千円)	23/3末	23/6末	増減率
流動資産	10,253,516	10,326,717	0.7%
現金預金	3,508,317	3,584,539	2.2%
売掛債権	3,585,019	3,398,617	△ 5.2%
棚卸資産	3,128,587	3,324,310	6.3%
その他	31,592	19,249	△ 39.1%
固定資産	6,641,431	6,608,015	△ 0.5%
有形固定資産	4,585,160	4,511,703	△ 1.6%
無形固定資産	147,911	135,479	△ 8.4%
投資その他	1,908,359	1,960,832	2.7%
資産合計	16,894,948	16,934,733	0.2%

## ・流動資産

売掛債権 減収により減少  
棚卸資産 原材料価格の上昇に伴う評価額の上昇により増加

## ・固定資産

有形固定資産 減価償却により減少  
無形固定資産 減価償却により減少

	23/3末	23/6末	増減率
流動負債	3,604,874	3,553,672	△ 1.4%
買掛債務	2,011,786	1,908,736	△ 5.1%
短期借入金	620,892	614,392	△ 1.0%
その他	972,196	1,030,544	6.0%
固定負債	896,459	907,988	1.3%
長期借入金	535,236	481,638	△ 10.0%
その他	361,223	426,350	18.0%
純資産	12,393,613	12,473,072	0.6%
株主資本	11,831,583	11,864,981	0.3%
評価・差額等	562,030	608,090	8.2%
負債・純資産合計	16,894,948	16,934,733	0.2%

## ・流動負債

買掛債務 減収に伴う仕入減により増加

## ・固定負債

長期借入金 長期借入金の返済により減少

## ・純資産

評価・差額等 投資有価証券評価増により増加

# キャッシュフロー計算書

(単位：千円)	22/3末	23/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,639,569	938,735	△ 700,833
税引前当期純利益	1,010,133	1,174,797	164,663
減価償却費	683,430	628,768	△ 54,661
棚卸資産の増減額	3,021	△ 374,335	△ 377,356
その他	△ 57,015	△ 490,494	△ 433,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 561,298	△ 267,216	294,081
有形固定資産の取得	△ 530,071	△ 262,381	267,689
その他	△ 31,227	△ 4,835	26,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 396,858	△ 521,086	△ 124,228
配当金の支払額	△ 155,385	△ 262,693	△ 107,307
その他	△ 241,472	△ 258,393	△ 16,920
現金等の増減額	681,413	150,432	△ 530,980
現金等の期末残高	3,357,885	3,508,317	150,432

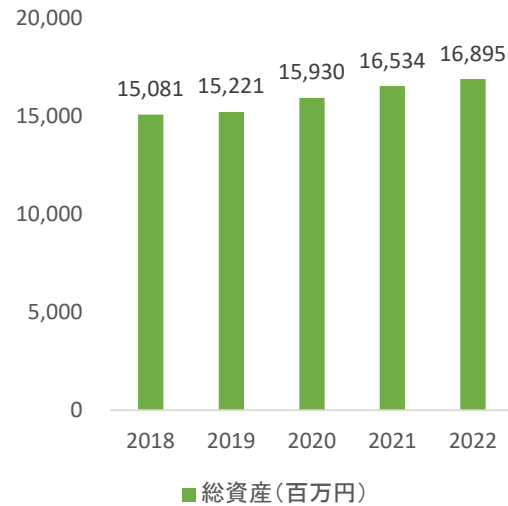
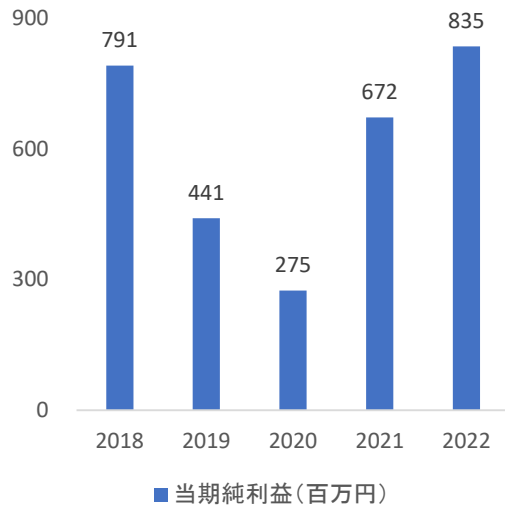
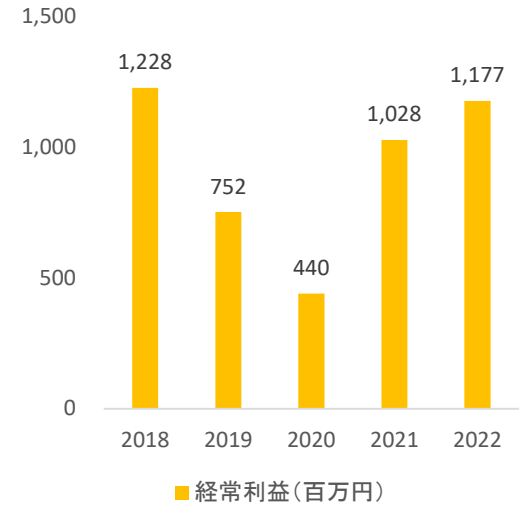
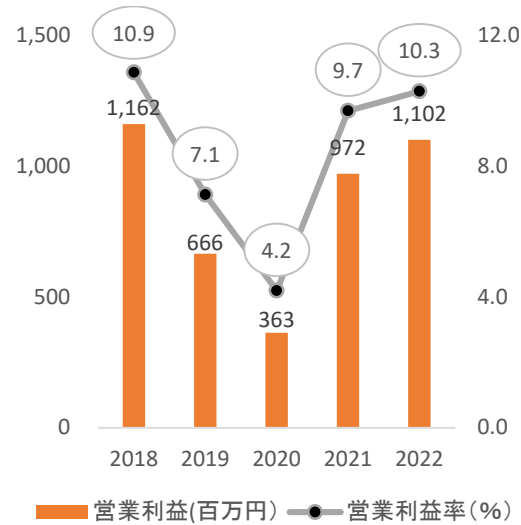
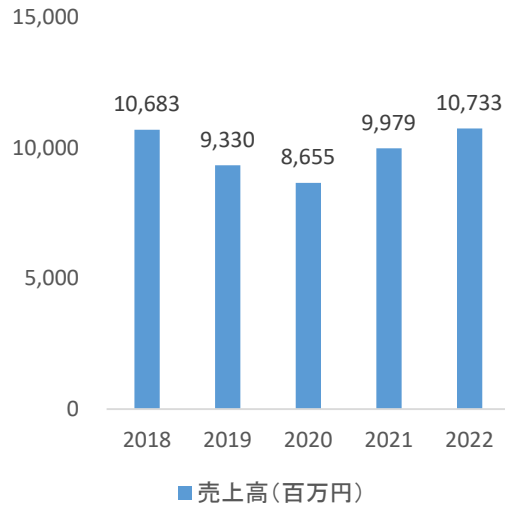
- ・営業CF  
棚卸資産の増減額  
受注増加に伴い在庫が増加
- その他  
増益に伴う法人税等支払額の増加
- ・投資CF  
有形固定資産の取得  
主にセラミックス事業生産設備  
の新設および更新
- ・財務CF  
配当金の支払額  
配当金13円⇒22円

※キャッシュフロー計算書は2023年3月期のデータを使用しております。

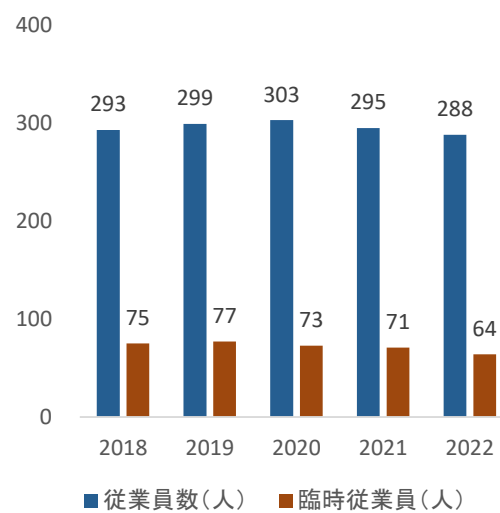
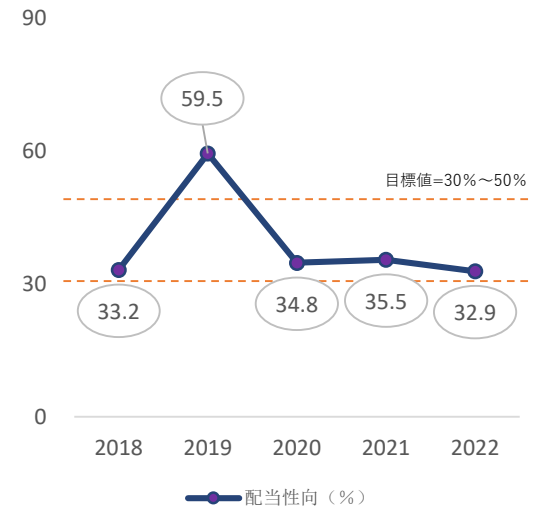
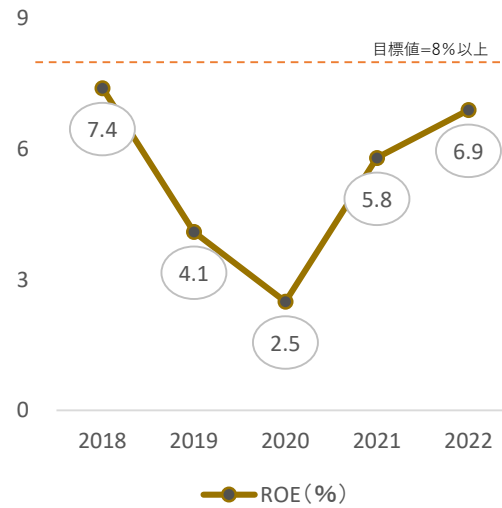
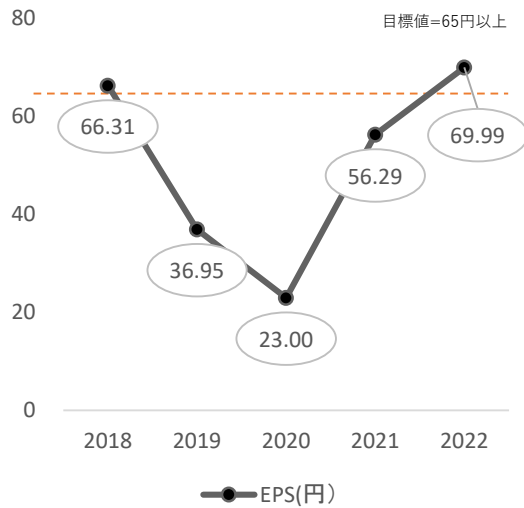
1. 中長期的な戦略について
2. 2024年3月期(第1Q)業績概要
3. 2024年3月期業績予想
4. 事業トピックス

# 2024年3月期業績予想

(単位：千円)	2024年3月期1Q(予測)		2024年3月期1Q(実績)		対予測比	2024年3月期(予測)		対通期比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	2,620,000		2,471,759		94.3%	10,700,000		23.1%
売上原価	1,975,000	75.4%	1,850,333	74.9%	93.7%	8,070,000	75.4%	22.9%
販売費及び一般管理費	375,000	14.3%	380,156	15.4%	101.4%	1,500,000	14.0%	25.3%
営業利益	270,000	10.3%	241,268	9.8%	89.4%	1,130,000	10.6%	21.4%
経常利益	280,000	10.7%	268,578	10.9%	95.9%	1,180,000	11.0%	22.8%
当期純利益	200,000	7.6%	188,559	7.6%	94.3%	840,000	7.9%	22.4%



# 企業データ②



1. 中長期的な戦略について
2. 2024年3月期(第1Q)業績概要
3. 2024年3月期業績予想
4. 事業トピックス



## 暮らしを支える セラミックス

皆さまの身近な製品の「ものづくり」で  
活躍するニッカトーのセラミックス。  
これからも、人々の豊かな暮らしのために歩み続けます。



## セラミックスを通じて 社会に貢献します

ニッカトーのセラミックスは、皆さまの身近な製品の  
「ものづくり」で活躍しています。  
私たちはこれからも、皆さまに必要とされる企業を目指して、  
セラミックスを通じて社会に貢献してまいります。



株式会社ニッカトーは、2023年6月1日創業110周年を迎えました。  
皆様の長年に渡るご愛顧に、心から感謝申し上げます。  
私たちはこれからも、セラミックスと計測システムの提供を通じて  
日本の「ものづくり」産業の発展に貢献してまいります。

(注) 本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。